

研究協力のお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における全身麻酔管理下咽頭癌内視鏡下粘膜剥離術の気道管理方法の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2013年1月1日から2023年9月30日に昭和大学横浜市北部病院手術室で下咽頭癌内視鏡下粘膜剥離術を全身麻酔で行った患者さん

2. 研究目的・方法

研究目的

全身麻酔による下咽頭癌の手術では一般的に気管挿管チューブや気管切開チューブを用いた人工呼吸による気道管理が必要です。下咽頭癌の場所と気道が近い場合は、気管挿管チューブが手術の妨げになることや、術後出血や気道浮腫により長期の人工呼吸管理や術後の気管切開が必要になる場合もあります。昭和大学横浜市北部病院では、これらの問題を解決するため、気管挿管も気管切開もせずに輪状甲状腺間膜穿刺器具を用いた方法で気道管理する方法を開発しその有用性を過去に報告しました。今回輪状甲状腺間膜穿刺器具による管理が困難な症例を経験したため、過去の症例を振り返り、本方法の改善点の検討と、安全性向上を目指した検討を行います。

研究方法

診療録に記載された画像情報から気管の太さや病変と気道の距離、麻酔記録に記載された気道管理の方法や、術後合併症の有無等の情報を検討します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料は用いません。

診療録(CT画像や内視鏡画像)から気管径、気管と病変との位置関係、身長、体重、併存症、術後合併症の有無、気道管理で使用した器具の情報を取得します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 山村彩

研究機関名 昭和大学横浜市北部病院麻酔科

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 麻酔科 氏名：山村 彩

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7624